

第92期 中間報告書

2019年4月1日 ▶ 2019年9月30日

フジオーゼックス株式会社

証券コード：7299

1. 技術を極め、顧客の高い満足と強い信頼を頂く商品を提供する。
2. 地球環境を守り、企業責任を全うし、社業を通じて社会に貢献する。
3. 世界を視野に高い目標に挑戦し、企業の発展と個人の成長を実現する。

コンプライアンスガイドライン

1. 法令・社内ルールを遵守し公正、透明、自由な競争をし、かつ適正な取引を行なう。
2. お客様の要求する製品・技術・サービスを安全性や個人情報・顧客情報の保護に十分配慮して開発、提供し、お客様の満足と信頼を獲得する。
3. 地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、環境負荷の低減に努め、社会及び地域の環境保全に貢献する。
4. 株主ならびに社会とのきめ細やかなコミュニケーションに努め、企業情報については、広く積極的に、また、公正に開示する。
5. グローバルな事業展開・協業活動、技術援助契約においては、現地の法律の遵守はもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に貢献する経営に務める。
6. 従業員の人間・人格、個性を尊重・重視するとともに、全員で築く安全で快適な職場作りをする。
7. 経営者層は、コンプライアンスガイドラインの実践が自らの使命であることを認識し、率先垂範し社内に徹底するとともにグループ企業や取引先に周知徹底させる。

フジオゼックスグループは、
写真のようなエンジンの動弁系部品を製造・販売しております。

アルミリテーナ



軽量鉄リテーナ



バルブスプリングの力をコッタを介してバルブに伝える働きをします。当社は、軽量化を目的としアルミリテーナを開発しましたが薄板・小型化による同様の機能を有し更に軽量化、軽量鉄リテーナの開発に成功いたしました。

コッタ

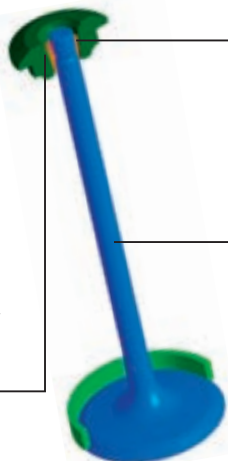


バルブ軸端部の溝に取付け、バルブとリテーナを結合させます。冷間形成のあとで表面処理・焼入れ・焼戻しを行っているため、部品との接触表面の耐摩耗性が維持されるほか、内部が柔らかい分、相手部品になじみやすく、部品結合性にもすぐれています。

エンジンバルブ



燃焼室への燃料と空気の混合ガスの流れを制御する吸気バルブ、燃焼室で生成された高温ガスの流れを制御する排気バルブ。いずれも高温での強度・耐摩耗性・耐腐食性・耐酸化性などが要求されます。



株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第92期第2四半期（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の概況と決算の状況、第92期通期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の見通し及び利益配分に対する基本方針をご報告させていただきます。

（1）当第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用者所得や個人消費が緩やかに回復し企業収益や国内生産は堅調に推移するものの、輸出は貿易摩擦等による下押し、設備投資は先行きの不透明感から慎重な動きと、景気は全般的には減速感が見られております。

一方、世界経済につきましては、米国は中国との貿易摩擦により減速基調となっていますが、雇用情勢良好の継続や政府の金融緩和姿勢等により個人消費が好調に推移したことから内需を堅調に引上げ、景気も底堅く推移しております。

中国は米国との貿易摩擦の影響による輸出の鈍化に加え内需も回復が遅れ、政府による投資抑制策の見直し等の下支えにより景気失速感を回避している状況となる等、減速傾向が続いております。

当社グループの属する自動車業界につきましては、国内需要は、全体を通しては前年同期を大きく上回る販売となりました。一方、北米全需は前年同期を下回る販売で推移しております。乗用車・トラックともに減少となる等厳しい状況が続いており、日系メーカーにつきましても前年同期を下回る販売となっております。中国全需は、前年同期を大きく下回る販売となる中、政府の景気対策により地方では日系メーカーを中心に若干の増加傾向となっております。

このような市場環境の中、当社グループは、欧州顧客への販売および海外の生産拠点からの販売の増加により前年同期に比較し、海外販売は39.3%の増加となりました。国内販売は、北米市場向け販売の落ち込みにより、前年同期に比較し11.2%の減少となりましたが、国内外を合わせると0.5%の販売増となりました。

経常利益につきましては、特に国内販売の北米市場向けの製品売上の落ち込みの影響が大きく、また中空バルブに関しましては生産性改善が実を結びつつありますが事業拡大に伴う先行投資が続いたため、前年同期を下回る利益となりました。

以上の結果、売上高は11,237百万円（前年同期比51百万円増）、営業利益は349百万円（前年同期比88百万円減）、経常利益は373百万円（前年同期比40百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は294百万円（前年同期比28百万円増）となりました。

なお、当社グループは、単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（2）通期の業績見通し

今後の見通しにつきましては2019年10月28日に公表いたしました業績予想からの変更はなく、売上高は22,500百万円、営業利益は900百万円、経常利益は900百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円を見込んでおります。

（3）利益配分に関する基本方針

当社は株主の皆様に対する利益還元を重要な経営政策として認識し、配当政策につきましては、今後の業績・財政状態や配当性向などを総合的に勘案して、安定的な配当水準を維持することを基本方針としております。また、内部留保金については、将来に向けた新技術・新製品の開発及び設備投資をはじめ、国内外の生産・販売体制の整備・強化、研究開発活動等に有効に活用する考えであります。

当社は、安定した収益構造の確立と経営全般の効率化に向けて鋭意取り組んでまいり所存であり、当期の配当については、中間配当金60円、期末配当金60円（予想）を予定させていただいております。

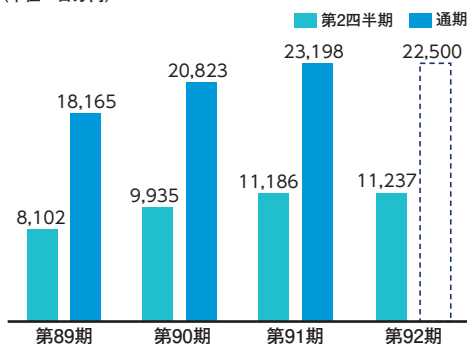
株主の皆様におかれましては、今後共一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



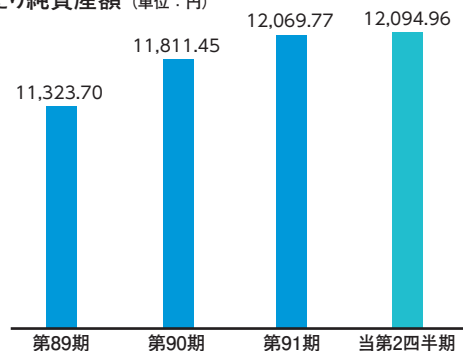
代表取締役社長執行役員
辻本 敏

連結財務ハイライト

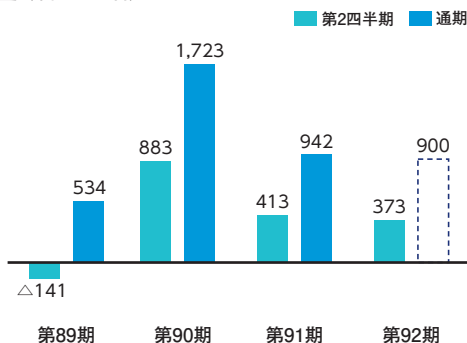
売上高 (単位：百万円)



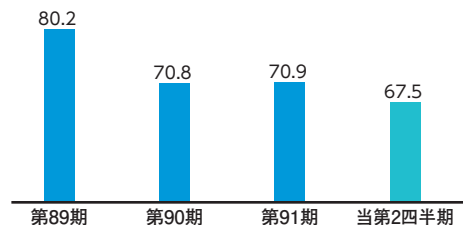
1株当たり純資産額 (単位：円)



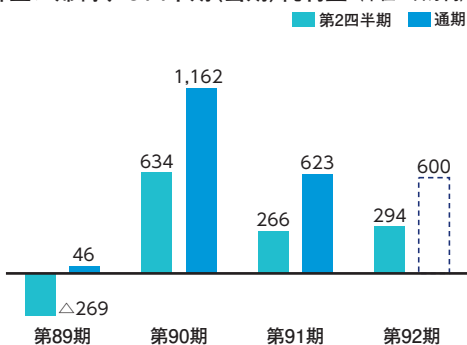
経常利益 (単位：百万円)



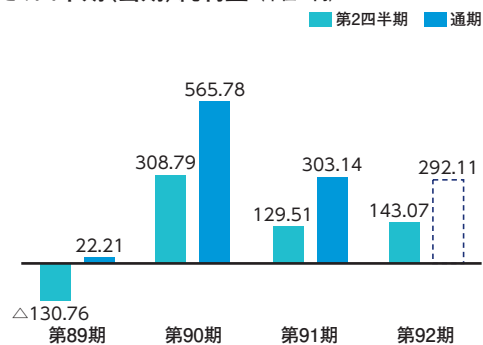
自己資本比率 (単位：%)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位：百万円)



1株当たり四半期(当期)純利益 (単位：円)



連結四半期財務諸表

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)	(参考) 前連結会計年度末 (2019年3月31日)
資 産 の 部		
流 動 資 産	14,294,214	14,765,821
現金及び預金	3,171,653	3,241,243
受取手形及び売掛金	4,608,045	5,428,121
商品及び製品	2,562,626	2,334,905
仕 掛 品	1,647,242	1,431,712
原材料及び貯蔵品	1,878,106	1,701,089
そ の 他	433,542	636,750
貸 倒 引 当 金	△ 7,000	△ 8,000
固 定 資 産	22,537,605	20,211,367
有 形 固 定 資 産	21,892,736	19,621,592
建物及び構築物	4,754,785	4,745,472
機械装置及び構築物	11,134,957	9,609,689
土 地	3,206,648	3,220,350
そ の 他	2,796,345	2,046,081
無 形 固 定 資 産	144,515	156,193
投資その他の資産	500,354	433,581
資 産 合 計	36,831,818	34,977,188

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)	(参考) 前連結会計年度末 (2019年3月31日)
負 債 の 部		
流 動 負 債	9,533,210	7,827,440
支払手形及び買掛金	3,641,121	3,584,705
短 期 借 入 金	3,033,184	1,587,280
1年以内返済予定の長期借入金	523,250	477,275
未 払 法 人 税 等	162,734	157,958
賞 与 引 当 金	90,660	107,746
役員賞与引当金	10,350	25,900
そ の 他	2,071,910	1,886,575
固 定 負 債	1,508,244	1,405,158
長 期 借 入 金	1,206,094	1,290,234
役員退職慰労金	2,113	1,775
退職給付に関わる負債	103,861	101,595
そ の 他	196,176	11,554
負 債 合 計	11,041,454	9,232,598
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	25,259,082	25,088,446
資 本 金	3,018,648	3,018,648
資 本 剰 余 金	2,800,499	2,800,499
利 益 剰 余 金	19,449,396	19,278,760
自 己 株 式	△ 9,461	△ 9,461
その他の包括利益累計額	△ 415,965	△ 297,069
繰延ヘッジ損益	—	△ 680
為替換算調整勘定	△ 272,785	△ 146,301
退職給付に関わる調整累計額	△ 143,181	△ 150,088
非支配株主持分	947,248	953,213
純 資 産 合 計	25,790,365	25,744,590
負 債 純 資 産 合 計	36,831,818	34,977,188

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

連結四半期財務諸表

■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	(参考) 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	11,236,590	11,185,541
売上原価	9,354,440	9,221,711
売上総利益	1,882,150	1,963,830
販売費及び一般管理費	1,533,321	1,527,131
営業利益	348,829	436,698
営業外収益	74,613	86,039
営業外費用	50,631	110,074
経常利益	372,810	412,663
税金等調整前四半期純利益	372,810	412,663
法人税、住民税及び事業税	162,832	147,896
法人税等調整額	△ 80,081	△ 238
四半期純利益	290,059	265,005
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 3,817	△ 1,022
親会社株主に帰属する四半期純利益	293,876	266,027

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	
	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	(参考) 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,219,725	742,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,601,577	△ 2,689,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,341,576	△ 124,170
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21,261	△ 6,810
現金及び現金同等物の増減額(減少は△)	△ 61,537	△ 2,078,687
現金及び現金同等物の期首残高	3,256,601	5,771,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,195,064	3,692,773

(注) 記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

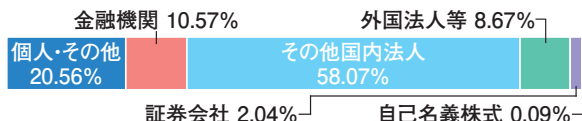
株式の状況

- ① 発行可能株式総数 4,000,000株
 ② 発行済株式の総数 2,055,950株
 ③ 株主数 1,142名

大株主

株主名	持株数 千株	持株比率 %
大同特殊鋼株式会社	933	45.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	122	5.9
大同興業株式会社	108	5.3
ジェイアンドエス保険サービス株式会社	65	3.2
株式会社りそな銀行	64	3.1
フジオーゼックス取引先持株会	55	2.7
MSIP CLIENT SECURITIES	45	2.2
NOMURA SINGAPORE LIMITED	41	2.0
東海東京証券株式会社	26	1.3
フジオーゼックス従業員持株会	21	1.1

株主構成（所有者別の割合）



取締役および監査役

代表取締役社長	辻 本	敏
常務取締役	市 川	修
取締役	藤 川	伸
取締役	浜 田	章
取締役	高 野	雄
取締役	吉 永	祐
取締役	廣 井	公
常勤監査役	河 野	新
監査役	志 村	嘉
監査役	山 田	剛
監査役	飯 塚	津
		美

- (注) 1. 取締役廣井公夫氏は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 また廣井公夫氏は東京証券取引所の定める独立役員です。
 2. 監査役山田剛己氏および飯塚嘉津美氏は、会社法第2条第16号および第335条第3項に定める社外監査役です。
 また山田剛己氏および飯塚嘉津美氏は東京証券取引所の定める独立役員です。

会社の概況

設立年月日 1951年12月21日
 資本金 3,018,647,500円
 従業員数 1,184名（連結）
 (2019年3月31日現在) 509名（単体）
 (注) パートタイマーおよび期間契約従業員は除いております。

事業内容 輸送用機械器具、原動機および汎用機その他一般機械器具関連部品の製造、販売、検査および技術提供

事業所一覧

本社 〒439-0023 静岡県菊川市三沢1500-60
 (菊川工業団地)
 TEL 0537(35)5973
 FAX 0537(35)5982
 横浜本社 〒220-0011 神奈川県横浜市区高島1-1-2
 (横浜三井ビルディング24階)
 TEL 045(681)1900
 FAX 045(681)1930
 静岡工場 〒439-0023 静岡県菊川市三沢1500-60
 (菊川工業団地)
 TEL 0537(35)5973
 FAX 0537(35)5982

執行役員

執行役員	辻 本	敏*
執行役員	市 川	修*
執行役員	藤 川	伸*
執行役員	浜 田	章*
執行役員	高 野	雄
執行役員	吉 永	祐
執行役員	廣 井	公
執行役員	河 野	新
執行役員	志 村	嘉
執行役員	山 田	剛
執行役員	飯 塚	津
執行役員		美

- (注) 1. 当社は2016年6月24日より執行役員制度を導入しております。
 2. *印は取締役を兼務するものを示します。

株式についてのご案内

■ 決算期

3月31日

■ 定時株主総会

6月

■ 配当金受領株主確定日

・利益配当金 3月31日
・中間配当金 9月30日

■ 公告の方法

電子公告

<http://www.oozx.co.jp>

ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

■ 株主名簿管理人

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社

■ 同事務取扱場所

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店

〔郵便物送付先〕
〔お問合せ先〕

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部

■ 各種お手続きのお申出先

☎0120-707-843（フリーダイヤル）

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、配当金受取方法の指定等、証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

特別口座でのお手續用紙のご請求はインターネットでもお受けいたします。

ホームページアドレス <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

（一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。）